



士別ロータリークラブ会報

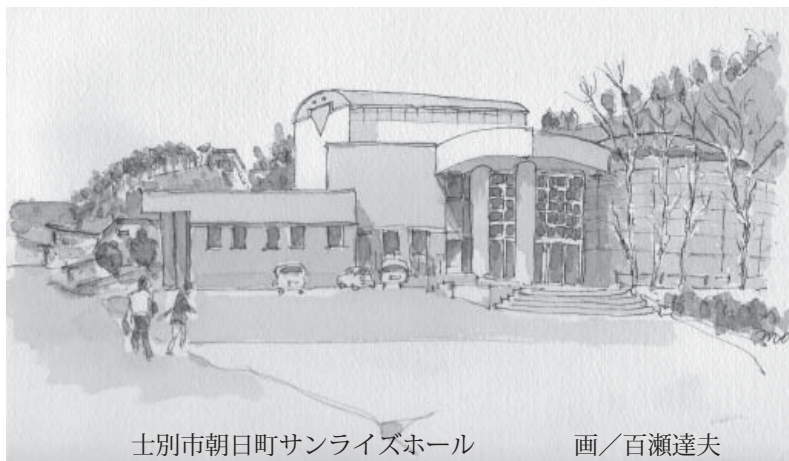
創立 1960・3・24 RI 第 2500 地区

Vol. 032 No. 2174



率先しよう

2006～2007 年度 RI 会長
ウィリアム ビル・ボイド



士別市朝日町サンライズホール 画/百瀬達夫

第 2253 回例会 2007 年 4 月 2 日 (月)

本日のプログラム

・普通例会・理事会

例会場/士別グランドホテル
例会日/毎週月曜日 12:10～13:10
事務所/士別グランドホテル
TEL 0165-23-1234

会長/大塚 勝人
副会長/野崎 英男
幹事/菊地 博

■前 回 (3 月 26 日、月曜日) の記録■

・士別 RC 創立記念日例会 (夜間)・卓話 (西條輝光会員)

司 会 若森 孝 会場監督
齊 唱 それでこそロータリー
本日の出席 出席率 100% 会員 67 名中 出席者 67 名
本日の欠席
メイクアップ
ビ ジ タ ー
ゲ ス ト
ニコニコBOX

累計 333,000 円

例 会 予 定

4 月・ロータリー雑誌月間

4 月 2 日 (月) 普通例会・理事会

4 月 9 日 (月) 普通例会

4 月 16 日 (月) 普通例会

4 月 23 日 (月) 夜間例会

4 月 30 日 (月) 休会 (振替休日・みどりの日)

5 月

5 月 7 日 (月) 普通例会・理事会

5 月 14 日 (月) 普通例会

5 月 21 日 (月) 普通例会

5 月 28 日 (月) 夜間例会 (夫人同伴例会)

■会務報告 大塚勝人会長

●3月24日、紋別でR I 第2500地区では始めて試みた、地区広報委員会と社会奉仕委員会が合同で主催する、市民公開フォーラムに、千葉ガバナー補佐、野崎副会長、渡辺寿男広報委員、志村会報委員長と私の5人で参加してきました。医師不足の問題を考え「地域の産声を守ろう!」と産婦人科医療をテーマにした、基調講演、パネルディスカッションが行われました。基調講演は最初に小野ガバナーと同期ガバナーのR I 第2510地区の丸山淳士ガバナーが周産期医療の現状と展望についての講演がありました。周産期医療とは(母体・胎児・新生児を総合的に管理して母と子の健康を守る医療)。近年、放射線、産婦人科の医師が減少しているのですが、産婦人科医が急激に激減しているその大きな原因は、晩婚、晩産化により仕事が厳しく訴訟が多い、又給料も安い、女性医師が増えても家庭があり、まるまる働く事は不可能である。この様な状況の中、医師の確保は非常に難しく、国の対策にしても一枚の指導通達書を出す程度であり、周産期医療センターに医師が来ないのが現状です。やはり国が力を入れモデルを示す等対策し、10年位をスパンとした長期的な方針をたて制度を改革すべきである、又、丸山ガバナーは退職をした医師を病院に紹介し、派遣医として働いてもらうのも一つの方法であり、医者たるものはロータリアンを見習い無償の奉仕をする必要があると話していました。香川大学の原量宏、産婦人科教授はITを用いた遠隔医療のお話でありました。この分野では日本では最先の国立大学で天皇家でも利用しているようですが、電子カルテおよび在宅の管理システムを作り、電子的なネットワーク、遠隔地、離島の在宅妊婦への指導が出来るそうです。講演の最後は清水哲也R I 第2500地区パストガバナー(旭川医大)の地域の実情についてのお話がありました。北大、旭川医大による学校自体の医師不足、今は卒業後月収13.4万しか貰えない大学より月給が倍以上でマンションを付けるような条件の良い所で実習が出来るようになり、出身大学に戻らなくなったそうです。昔は6割学校に残り実習をした医学生が今は1割しか残らないのが現状のようです。この後パネルディスカッション入った訳ですが、内容は時間がありませんのでかつあいしますが、素晴らしい内容だったと思います。質疑応答の中でITを用いた遠隔医療、また制度の改革など時間や技術を要するものではなく、我々が直ぐ出来ることは何かと言う間に、予防検診であると答えを頂きました。日本人は予防検診を受ける率が低すぎる、他の先進国の三割しか受けていない。出産時の死亡率が低いのは検診率が100%であるからだそうです。病気になり重くなる程お金も掛かるのです。予防検診する事により病気を減らし、医療費の軽減に繋がる訳です。

■幹事報告 菊地 博幹事

①国際RC第2510地区第12グループ苦小牧RC阿部善則会長より、苦小牧RC創立50周年記念式典の案内が届いております。日時は、6月9日(土)午後2時より、会場はグランドホテルニュー王子、登録料は12,000円登録締めきりは、3月31日となっております。登録参加されます会員は、幹事まで申し出下さい。

②米山梅吉記念館より、館報(春)が届いております、入り口資料テーブルに置いて御座いますので、ご一読下さい。なお、財団法人米山梅吉記念館より、100円募金、賛助会費、記念誌代の協力のお願いが、参っておりますので協力頂けます方は幹事までお話し下さい。

③士別市子ども会育成連絡協議会川副春夫会長様より、第11回しべつわんぱくフェスティバル開催に伴う、後援のお願いが参っております。日時は5月20日(日)10時開会式 会場は士別市総合体育館府です。RCとしては昨年

同様に後援協力をさせて頂きたいと思っております。

④百瀬達夫会員より、3月19日付けで病氣治療のため、当分の間例会に欠席をすることになりました。クラブ定款により、出席規定の適用を免除されたいので、書面をもって通告いたします。何分宜しくお願い致しますとのお手紙を頂いた次第でございます。百瀬会員は、退院後自宅療養中で御座いまして、比較的元気で過ごしの事との奥様からのお話で御座います。百瀬会員の一日も早いRCへの復帰を願うものであります。

◆プログラム

◎プログラム委員会 神田英一委員長

本日は当クラブの創立記念例会と言うことで、当委員会メンバーの西條会員に卓話を頂きますので宜しくお願いたします。

◆卓話

◎西條輝光会員

神田委員長から創立記念日にちなんだ卓話を願いますとの事ですが、私は創立して大分経ってから入会致しましたので当時の事は分かりませんが、幸いにも20年誌、30年誌、40年誌が手元に有りましたので、記念誌を紐解きながら題場にさせて頂きました。士別ロータリークラブは1960年、昭和35年3月24日は加盟承認申請した日です。この日を創立日としました。同年5月20日加盟承認されました。

これまでの経過については、毎年諸先輩が卓話で語り継がれて来ましたが皆さんご存じの事と思っております、本日は創立以来の当クラブの足跡を辿ってみたいと思っております。時間の関係もあり社会奉仕活動に焦点をあてたいと思っております。始めに、各年度に実施された社会奉仕活動を記念誌よりひろい、単年度事業、継続事業、周年事業、各地震災等の見舞いと大別したのが之からの要点です。単年度事業は長くなりますから省略して継続、周年事業に触れたいと思っております。

継続事業

◎敬老会

初代森実会長に始まり自治会に移行する37代斉藤会長まで続く。今の「敬老の日」は改正された1966年(S41年)に「国民の祝日」となる。

寄贈品 多種 老人杖、茶碗、敷布、座椅子、電器炬燵、電気毛布、(対称 米寿) 毛布、座布団

人数：S58年/28名、S60年/30名、S62年/29名、H2年/43名

◎僻地教育振興(S36~44年)西條初太郎、教育委員の頃。

●伊文、湖南小 訪問

●東陽、北静川小慰問(腹話術、教育資金、菓子)

●北温小中生招待、市庁舎見学、続いて雪祭り参加

●僻地校音楽の集い、伊文小参加支度金、旅費は会員2名が出す

●湖南小開校10周年記念に映写機を贈る

●大英小にテレビ受信用アンテナ寄贈

●僻地の集い5校71名招待 つくも青少年の家で一泊研修 現在は廃校になっている

◎精神科 S37~47年

市立病院に衣料、慰問、衣料250点、10周年に万国旗、オルガン寄贈

◎母子会(一日父親デー) S38から中断あるもS62年まで母子家庭の子に資金援助、行事、中学生の激励会等協賛、参加して子供達に元気をあたえた。

S55年よりS60年の間中断されていたが犬伏会長の時に復活旭山動物園に大型バスで父親代わりの会員が同行一

日楽しく遊んできた。続いて翌年は日向森林公園のアスレチック遊具で共に遊び代役を務めた。これ以前に納内?へ林檎狩りに連れて行った記憶があるが記念誌は記載無し。

◎**スポーツ少年団**

S37年度工藤熊雄会長の時スケート場運営資金援助から始まる、S61年度にスポーツ少年団の発足があって、以来活動資金援助をしてきた。この間トリリーグ、にいまではサッカー少年団に毎年活動資金の援助を続けている。

◎**歳末助け合い運動**

S39年第5代赤岡会長の時より現在まで続けている。共同募金街頭参加、クラブ会員による募金協力、外チャリティに協賛。以上が単年度事業と継続事業のあらましです。

◎**外に市立病院、声の図書館、ロータリー文庫、など継続性のある事業がある。**

追記として

◎**各地地震見舞金、義援金が増えてきた。**

- 1) 92～93年 (H4～5年) 釧路沖地震
- 2) 93～94年 (5～6年) 北海道南西沖地震、鹿児島県大洪水、シシッピー川大洪水
- 3) 94～95年 (6～7年) 東方沖地震、兵庫県南部地震
- 4) 99～2000年 (11～12年) トルコ地震、台湾地震



周年事業

- 10周年 式典、祝賀会
記念誌は編集委員会あるも未完に終わる。
- 20周年 式典不用 時の深澤会長
記念事業 太陽電池時計 3基 設置
水郷公園、不動森林公園、グリーンベルト5丁目
- 30周年 記念誌 式典、祝賀会
記念事業 天塩川護岸ブロックに
『サホークをモザイクブロックに施行』
- 40周年 記念誌、式典、祝賀会
記念事業
1) 入浴用昇降ストレッチャー1台
桜ヶ丘サービスセンター
2) 訪問リハビリ用車輦1台
(士別ロータリー号) 市立病院に

各年度主な事業

60～61年 (S35年) 初代会長松田栄、森実易逸

- マイクロホン関係器具一式 商工会館へ
- 敬老会 85才以上の老人に敬老杖を贈る
- 孫殿下誕生奉祝記念事業 金2万8千円寄贈

61～62年 (S36年) 2代会長 西條初太郎

- 敬老会 杖、茶碗 ○市立病院精神科 衣料
- 僻地教育振興 伊文、湖南小学校訪問、映画「キクとサム」上映、無量健康相談、図書、及び慰問品贈呈
- 成美小学校にベルタイマー設置寄贈

62～63年 (S37～38年) 3代会長工藤熊雄

- 敬老会 杖、茶碗 ○精神科 衣料
- 高松宮 朝日町来訪につき記念品贈呈

○老人ホームにステージ贈呈 ○スケート場運営資金

○第1回道北スキー大回転競技大会に優勝カップを

63～64年 (S38～39年) 4代会長鈴木輝明

- 精神科慰問
- 僻地校 (東陽、北静川小学校) 慰問、腹話 劇を供覧、教育資金及び菓子贈呈
- 南大通防犯灯設置基金贈呈 ○母子会に1日父親

64～65年 (39～40年) 5代会長赤岡豊

- 敬老会 杖、茶碗 贈る ○マザーホームの児童慰問
- 歳末助け合い運動に参加、精神科慰問
- 北温小中学校 (僻地校) の児童生徒招待、市庁舎を見学 続いて雪祭りに参加
- 母子会1日父親会のため資金贈る

65～66年 (40～41年) 6代会長工藤村雄

- 僻地校音楽の集い 伊文小参加、支度金を工藤会長が、旅費を斉藤茂義が。 ○精神科慰問 衣料250点贈る
- 市庁舎前庭に国旗掲揚塔を建設贈呈 (工事施工者西條良男氏)
- 交通信号機 (大通1丁目) 設置贈呈

66～67年 (41～42年) 7代会長小野宗一、木島金之助

- 敬老会米寿以上の人に杖、敷布を贈る
- 精神科10周年記念に万国旗を贈る
- 士別駅舎新築落成祝い、花台を贈る
- 僻地校湖南小開校10周年 映写機贈る

67～68年 (42～43年) 8代会長大野忠義

- 敬老の日米寿祝に座椅子贈る
- 僻地校慰問大英小にテレビ受信アンテナ寄贈
- 士別RC奨学資金設立、基金25万円、1968年4月より運用開始、大学生2名に対し月額3千円支給
- 母子会行事協賛 ○グリーンベルトにナナカマド40本 植樹、全員にて、木は樫木実氏の寄贈による

68～69年 (43～44年) 9代会長石垣嘉二

- 交通安全運動街頭補導に協力出動した
- 僻地の集い5校71名招待、つくも青少年の家で1泊研修
- 母子家庭中学卒業生激励会に出席

69～70年 (44～45年) 10代会長楠本一雄

- 桜ヶ丘老人ホームに楽器6点外寄贈
- 敬老会 米寿に電器炬燵贈る
- 士別市体協に3万円贈る
- 10周年記念式典 記念事業委員長 石垣嘉二
記念誌編集委員長に 工藤熊雄

70～71年 (45～46年) 11代会長百瀬達夫

- 創立10周年記念事業 市役所前庭に噴水池贈呈
- 温根別公園にごみ箱設置 ○韓国に図書贈呈

71～72年 (46～47年) 12代会長加藤信行

- 士別市防犯少年野球大会に協力
- 士別市立病院精神科にオルガン寄贈
- 敬老の日米寿の老人に電器毛布を寄贈
- 歳末助け合いチャリティーショーに協力

72～73年 (47～48年) 13代会長 渡辺恒夫

- 敬老の日 毛布を贈る

73～74年 (48～49年) 14代会長吉尾政治

- 敬老の日 記念品?贈る

74～75年 (49～50年) 15代会長河合正春

- 敬老の日 記念品?米寿
- ゴミ箱5個 水郷公園、総合体育館

75～76年 (50～51年) 16代会長深尾 浩

- 敬老の日 記念品?米寿
- 救急車 (ツ士別ロータリー号) 寄贈

76～77年 (51～52年) 17代会長尾本幸一

77～78年 (52～53年) 18代会長田中義人

- 一日父親デー
- 敬老会

○寝たきり老人用浴槽運搬車 市え寄贈
78～79年(53～54年) 19代会長村木秀敏
○一日父親デー
○敬老の日
79～80年(54～55年) 20代会長深澤宏紹
○土別図書館に土別ロータリー文庫創設 国際児童年を記念して、図書540冊、70万円を寄贈
○一日父親デー ○敬老の日
○創立20周年記念事業として、太陽電池時計3基を水郷公園、不動公園、グリーンベルト(5丁目)に設置
80～81年(55～56年) 21代会長 幸田常寿
○歳末助け合い運動寄付
○土別声の図書館に30万円助成(早川淳子会長)
○敬老の日
81～82年(56～57年) 22代会長 今井清次
○歳末助け合い
○声の図書館にダビングセット機器2台寄贈
○敬老の日 米寿祝座布団
○図書館に図書寄贈(ロータリー文庫)
82～83年(57～58年) 23代会長 渋川国雄
○敬老の日 米寿28名祝贈る
○図書館ロータリー文庫に図書補充
○精神障害者社会復帰学級に訓練用具寄贈
○土別リトルリーグ・土別スポーツ少年団のたいする助成
83～84(58～59年) 24代会長 山本 栄
○敬老の日
○歳末助け合い
○スポーツ少年団・ボーイスカウト・リトルリーグ・スイートピー交通少年団に寄付
84～85年(59～60年) 25代会長 高橋義隆
○敬老の日米寿祝30名
85～86年(60～61年) 26代会長 犬伏彰吾
○敬老の日 布団
○声の図書館に寄付
○市にゴミ箱寄贈
○観光協会に桜の苗木贈呈
○一日父親デー復活 旭山動物園に行く
86～87年(61～62年) 27代会長 佐藤安司
○一日父親デー 日向森林公園
○敬老の日 29名 ○スポーツ少年団
○歳末助け合い募金、共同募金会へ贈呈
○総合体育館に表彰台寄贈(国体に向けて)
87～88年(62～63年) 28代会長 西條輝光
○敬老の日
○ポリオプラス
○スポーツ少年団・ボーイスカウト資金援助
○市立病院に屑籠寄贈
88～89年(63～H01年) 29代 武田 修
○敬老の日
○スポーツ少年団
○第44回国民体育大会にTシャツ贈呈
※第9回ライラセミナー実施
89～90年(01～02年) 30代会長 江端捷浩
○敬老の日 米寿43名
○共同募金
○従業員表彰を新設
○歳末助け合い
○スポーツ少年団
※30周年記念事業、天塩川護岸ブロック『サ ホークをモザイクブロック施行』
90～91年(02～03年) 31代会長 中村徹雄
○ふれあいセンターにカセット棚寄贈
○天塩川環境保全植樹

○歳末助け合い
91～92年(03～04年) 32代会長 菅原清人
○天塩川環境保全植樹
○敬老の日
○スポーツ少年団
○歳末助け合い
92～93年(04～05年) 33代会長 今井忠則
○土別霊園 桜の植樹
○敬老の日
○釧路沖地震見舞金
○スポーツ少年団・歳末助け合い
93～94年(05～06年) 34代会長 興水広志
○市立病院待合室に書架寄贈
○敬老会祝
○スポーツ少年団、子供会育成協議会善導大会助成
○歳末チャリティ参加、歳末助け合い
○北海道南西沖地震見舞金、鹿児島県大雨洪水、ミシシッピー川大洪水見舞い
94～95年(06～07年) 35代会長 吉倉慶次郎
○市立病院談話室にテーブル5セット寄贈
○敬老の日
○歳末助け合いチャリティ
○東方沖地震見舞金、兵庫県南部地震義援金
95～96年(07～08年) 36代会長 清水昭一
○市立病院 車椅子、枠付ストレッチャー等7台寄贈
○歳末助け合い
○土中プラスバンド全国大会出場協力
○敬老会記念品
96～97年(08～09年) 37代会長 斉藤 進
○テント3張り コスモス苑 ○年末助け合い
○敬老会への参加(この年より自治会主催となる)
97～98年(09～10年) 38代会長 宮田喜久三郎
○コスモス苑 テント1張り
○バン格拉ヂッシュにセルター建設支援
○つくも青少年の家 パークゴルフ用スコアカード 6000枚寄贈
○歳末チャリティ、歳末助け合い
○スポーツ少年団、サッカー少年団、第2回わんぱくフェスティバル協力
○ユネスコ寺小屋運動募金
98～99年(10～11年) 39代会長 谷口日出男
○つくもパークゴルフ場にベンチ6脚、テーブル3台寄贈
○スポーツ少年団、サッカー少年団、わんぱくフェスティバル
○歳末助け合い
99～2000年(11～12年) 40代会長 田中 全
○歳末助け合い
○スポーツ少年団、サッカー少年団、第4回わんぱくフェス
○トルコ地震見舞金、台湾地震見舞金
00～01年(12～13年) 41代会長 市田孝一
○継続事業
01～02年(13～14年) 42代会長 竹内栄一
02～03年(14～15年) 43代会長 佐藤元信
03～04年(15～16年) 44代会長 加藤諭伸
○日本開催 国際大会 大阪にて 当会より13名同伴夫人3名の参加
04～05年(16～17年) 45代会長 千葉道夫
○交通安全運動への協力
05～06年(17～18年) 46代会長 汐川泰晴

以上、足跡を辿りましたが、時代背景が感じられること、会長の考えが事業に強く反映していること、併せて、会員の問題意識の高さに敬服させられました。
以上で創立記念の卓話として責任を終わります。